

成果指標				
成果指標	後期高齢者医療関係の申請書受付件数			
指標設定の考え方	資格管理や医療給付等、後期高齢者医療制度を実施するために必要な申請件数を指標とし、制度が円滑に行われていることの成果を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	3000	4000	0	0
実 績	4046	3836	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後も増え続ける高齢者に対して、広報及び窓口対応等により制度の更なる周知を図っていく必要がある。75歳年齢到達前に、制度の周知を行なっていくことも必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	後期高齢者医療制度の対象者に適正な医療給付が行われるとともに、制度が安定的に運営されよう、積極的に制度の周知を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題